

を行い、在住外国人の方が自助・共助できるよう防災教育を充実させていきたいと考えております。

また、外国人の親を持つ子供の教育問題も課題として挙げられます。外国人児童は、日本語を話したり、聞いたりすることは不自由なく行っても、読み書きが不自由な場合があるため、このような児童をいかにサポートしていくかは、当課だけでは解決できない問題であり、関係機関やNPOなどと連携していきたいと思っております。

現在、日本との政治情勢が不安定な状況の国との交流は、

このような時こそ、地域の草の根交流を活発に行うことが大切で、何十年も良好な関係を継続していくことは、人と人が交流し、その結果として地域の国際化・活性化につながります。

本市では、今後も市民の国際理解・国際感覚の醸成に努めていきたいと考えておりますので、和歌山東ロータリークラブの皆様におかれましても、今後とも本市の国際交流行政にご理解とご協力をお願いします。

ニコニコ箱

- 中西 歩さん 卓話の御礼をいただきました。
 - 山東 勝彦さん 家内の誕生日に花をお届け頂きありがとうございました。
 - 野井 晋さん 平成26年おめでとう御座居ます。本年も良い年でありますように！
 - 谷口 文利さん 今年も宜しくお祈りします。
 - 瀧川 嘉彦さん 中西様、本日の卓話よろしくお祈りします。
 - 赤井 雅哉さん 理事会、休んでばかりですみません。
 - 村田 昌之さん 和歌山市内外交流課中西課長様卓話ありがとうございます。
 - 上中 崇司さん 中西様、本日はありがとうございます。
 - 佐藤 義記さん 初例会欠席してすみませんでした。中西様、本日の卓話宜しくお祈りします。
- 阪神タイガース応援団一同

〔皆出席表彰〕
田原 久一さん 1年皆出席

ありがとうございました

皆出席表彰

田原久一さん 1年皆出席 通算23年



おめでとうございます！

本日の累計 38,000円(計10名 11件) (誕生日献金 226,000円 皆出席表彰 35,000円 その他 1,158,982円 累計額 1,419,982円)

本日の例会 1月23日(木) 次回の例会 1月30日(木) P.M.6:30~ 於 ダイワロイネットホテル和歌山 4F

●卓話「新春放送」 名誉会員 駒井 則彦さん

●お誕生日お祝い
野井 晋さん 1月 5日 糟谷 元春さん 1月 8日
玉置 博康さん 1月17日 中江 遵義さん 1月18日
中野 幸生さん 1月27日

●ピアノ演奏 中井 利枝さん
蒼い夜 (ANDRE GAGNON)
二日間の旅 (ANDRE GAGNON)

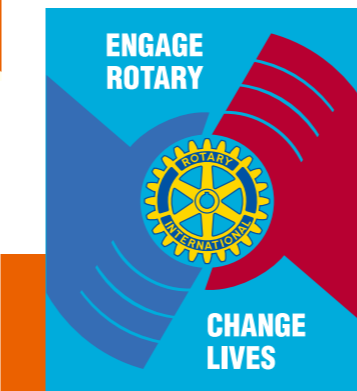
メイキャップ 敬称略

1月15日(水) 和歌山西R.C. 内畑 瑛造、笹島 良雄、山本 進三 / 1月17日(金) 泉州KUMATORI R.E.C. 谷口 文利
1月20日(月) 和歌山北R.C. 堀岡 忠男

出席報告 会員数 43名(内出席規定適用免除会員16名) 乾 敦雄 出席委員長

1月16日(本 日)	23名	67.6%	1月 2日(メイキャップ後)	休 会
------------	-----	-------	----------------	-----

皆さん、出席してください。



凛として原点に

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**
URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2013~2014年度
和歌山東ロータリーのテーマ

2013~2014年度
国際ロータリーのテーマ

2014年1月23日(木)
週報 / VOL.55 No.26
(通巻2620)

●会長報告

村田 昌之 会長



山岡鉄舟と清水次郎長のお話をします。
清水の次郎長が「街道一の大親分」と称されるまでに成り上がり山岡鉄舟の知遇を得て、「東海遊使伝」を出版される程の人物になりましたが、当時の社会情勢の理解なくしてはわからないと云えます。江戸時代には身分制度は歴然として確立されていましたが、庶民でも金さえあれば豊かな暮らしが出来ました。つまり、金がものをいう現在と少しも変わらない状況だったと云えます。

1888年(明治21年)7月19日は、山岡鉄舟の没した日です。
山岡鉄舟は幕末から明治にかけて国を救う働きをしました。「命も、名も、金もいらぬ」はあまりに有名ですが、今では忘れられてしまった様に思われます。鉄舟は旗本の長男でしたが、槍の師範である山岡家を継ぎ、後に無刀流を興した剣豪でありました。上野の寛永寺に寄進した徳川慶喜の命で、西郷隆盛に命をかけた交渉の末、徳川家救済と江戸城無血明け渡しが実現しました。明治政府になってからも鉄舟はその実力を買われて、天皇の侍従になり、公爵の称号を賜りました。誰とでも気軽に付き合い、商人の看板なども書いてやったそうです。書も一葉齋と号して一流であった。

1888年(明治21年)7月19日、53歳で没しますが、座禅をしたままの往生であったといわれています。出棺の日、明治天皇が最後の別れを告げられるため、赤坂離宮の前で葬列が10分間歩みを止めたといわれています。

さてそこで、清水の次郎長です。山岡鉄舟が影響を与えた人物であることは、あまり知られていません。清水の次郎長が「街道一の親分」として世に認められたのはなぜか。

「時代、時流にのった」・「多くの人々が納得する成果を上げた」・「周りに多くの人材を抱えていた」しかし、そこに辿り着くまでの要件として何かのきっかけが必要です。

又次回に続きをお話しします。

●幹事報告

上中 崇司 幹事



年賀状、JCニュース、こぼと学園便り、2014年国際大会日本人朝食会のお知らせ・・・回覧します。

●卓話「和歌山市の国際交流について」

和歌山市まちづくり局まちおこし部 内外交流課 中西 歩さん



和歌山市内外交流課の国際交流事業を大きく分けると①姉妹都市・友好都市交流事業、②在住外国人支援事業、③国際理解協力事業があります。

まず、姉妹都市・友好都市交流事業は、ベイカースフィールド市(アメリカ合衆国)、リッチモンド市(カナダ)、済州市(韓国)と姉妹都市提携を、また済州市(中国)と友好都市提携を結び、5年ごとの周年事業の訪問団派遣や受入、記念植樹などの記念式典を実施し、この時にさらに友好を深めることを誓い盟約書の締結をしています。

また、青少年交流は、子どもたちが若い時に海外で日本と違う世界を経験することは、視野を広げ国際化に対応できる人材、特に次世代を担う青少年の国際意識を高め、時代に対応できる人材育成につながるものだと考えています。学校の授業やゲームで交流を深め、ホームビジットや

ホームテイにより生活や文化について学んでいます。

次に在住外国人支援事業は、和歌山市に住んでいる外国の方に楽しく快適に暮らしてもらえるように日本語教室の開催、KYC和歌山の情報紙の作成、防災講座の開催や生活に関する相談を受け付けています。

最後に国際理解協力事業は、地域の国際交流の推進を目的とするもので、国際交流員が小学校に出向き、米国の子どもたちの暮らしや遊びなどのテーマで相互の文化理解を深める国際理解教室、中学生英語暗唱大会、外国語教室(英語・中国語・韓国語)や、市民と市内在住外国人の方々がその国の料理、お菓子や飲み物を持ち寄って一緒に食事をしながら交流を図るポットラックパーティーなどを実施しています。

これからの課題の1つは、在住外国人の方の支援で、特に今後30年以内に起こるといわれている「東南海・南海地震」に対する認識をさらに高めてもらうため、情報発信